

Ⅱ 令和2年度当初予算の主な施策

1 暮らしの安全・安心の確立

<令和元年の台風等災害からの復旧・復興、公共施設の防災対策>

○ 令和元年度12月補正予算において計上した、一部損壊の住宅の修理や被災農業用施設の再建等に対する助成について、被害状況の確認が進み、所要見込額が想定を上回ったことにより、予算を増額して対応します。

また、新たに、自治会集会所などの地域コミュニティ施設の復旧費用に対する助成を行います。

○ 特別支援学校や信号機、社会福祉施設等における非常用自家発電設備の整備を進めます。

○ 一宮川流域において、令和元年の大雨と同規模の降雨による再度の浸水被害ゼロを目指すため、河道の拡幅や調節池の増設など、10か年の特別緊急事業を実施します。

○ 河川やダムのは治水機能を高めるため、緊急的に浚渫を実施するとともに、河道拡幅や護岸整備などの河川改良について、予算を増額して実施します。

また、土砂災害対策については、急傾斜地への擁壁整備など、崩壊防止施設の設置に係る事業費を増額するほか、土砂災害のおそれがある箇所を周知するため、早期に、基礎調査の結果を公表するとともに、土砂災害警戒区域の指定を進めていきます。

○ 農地の湛水被害を防止するための施設整備や、地すべり・山崩れを未然に防止するための対策工事など、農地や山地の防災対策を強化します。

また、市町村に対し、防災重点ため池に係るハザードマップの作成や、避難路等に指定されている農道の耐震性点検等に要する費用を助成します。

○ 道路や電線など重要インフラ施設に近接する森林において、更なる倒木被害の発生を防止するため、緊急的に実施する復旧整備や伐採等を支援します。

<主な事業>

- ・ 一部損壊の住宅への支援（元年度2月補正） 800,000千円（別冊 6頁）
（既定予算とあわせ 4,000,000千円）
- ・ 被災農業施設等復旧支援事業（元年度2月補正） 3,069,000千円（別冊 7頁）
（既定予算とあわせ 26,909,500千円）
- ・ 地域コミュニティ施設等再建支援事業【新規】（元年度2月補正） 150,000千円（別冊 8頁）
- ・ 停電対策用非常用自家発電機等の整備【一部新規】（元年度2月補正・2年度当初あわせ） 1,055,623千円（別冊 9頁）
- ・ 一宮川流域浸水対策特別緊急事業（元年度2月補正・2年度当初あわせ） 1,828,000千円（別冊 10頁）
- ・ 河川・海岸・砂防事業（元年度2月補正・2年度当初あわせ） 27,270,955千円（別冊 11頁）

・農地防災事業	2,471,170千円（別冊 12頁）
・治山事業（元年度2月補正・2年度当初あわせ）	2,293,543千円（別冊 13頁）
・震災対策農業水利施設整備事業	131,000千円（別冊 14頁）
・森林整備事業【一部新規】（元年度2月補正・2年度当初あわせ）	394,919千円（別冊 15頁）

<地域防災力の向上>

- 自主防災組織の育成・活性化、ライフラインの確保や情報伝達体制の強化など、市町村が地域防災力の向上のために取り組む事業に対して実施してきた総合支援補助金について、期間を延長するとともに、大幅に増額します。

また、次なる災害の発生に備え、必要な備蓄物資の増強を速やかに行うとともに、より実践的な防災訓練を実施します。

- 人口集中地域において大規模災害の発生が予想された場合に、円滑な避難が行われるよう、関係機関との協議を進めるため、避難者の規模や避難の方向等を把握する調査を実施します。

<主な事業>

・千葉県地域防災力向上総合支援補助金	250,000千円（別冊 16頁）
・備蓄物資整備事業、防災訓練事業	180,000千円（別冊 17頁）
・大規模災害広域避難基礎調査事業【新規】	10,000千円（別冊 18頁）

<防犯・交通安全対策の強化>

- 犯罪の予防や発生時の迅速な対応・早期解決を図るため、駅周辺の繁華街に防犯カメラを増設するとともに、防犯カメラ等の映像を迅速かつ効率的に解析するシステムを導入するため、債務負担行為を設定します。

また、地域防犯力の向上を図るため、防犯ボックスの設置をさらに進めます。

- 交通事故死者数の減少を目指し、事故状況等を分析して、被害の多い高齢者向けの啓発等を強化します。また、交通事故防止のため、歩道整備、交差点改良や交通管制機器の整備、信号機・道路標識の設置、横断歩道の補修等を行います。

<主な事業>

・防犯カメラシステム整備事業【一部新規】	79,501千円（別冊 19頁） （債務負担行為 320,000千円）
・防犯ボックスを核とした地域防犯力・コミュニティ力向上事業	121,800千円（別冊 20頁）
・交通安全県民運動	20,000千円（別冊 21頁）
・交通安全施設整備事業（元年度2月補正・2年度当初あわせ）	9,620,769千円（別冊 22頁）

2 子ども・子育て世代への支援の充実

<教育環境の充実>

- 私学教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、私立学校経常費補助について、県単独の補助単価を高校で1,000円、幼稚園で2,000円、引き上げます。
- 私立高校等における授業料減免について、国の制度改正にあわせて県単独補助を拡充するとともに、低所得世帯に対する入学金軽減事業についても補助額を増額し、家庭の教育費負担の一層の軽減を図ります。
また、新たに、私立専門学校における低所得世帯の生徒に対する入学金・授業料減免について、その経費を負担します。
- 学習能力の基盤となる情報活用能力を育成するため、県立学校において、インターネット環境の再整備や、タブレット端末などICT機器の整備を進めるほか、ICTの特性を活かし、生徒の主体的な取組を促すとともに、学習課題に応じた効果的な学習を行います。
- 児童生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりに向け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員するほか、令和元年度に高校生を対象として実施した、SNSを活用した相談事業について、中学生を対象に加えるとともに、開設期間を延長します。

<主な事業>

- ・私立学校経常費補助（一般補助） 34,154,375千円（別冊 23頁）
- ・私立高等学校等就学支援事業、私立高等学校等授業料減免・入学金軽減事業補助 11,011,000千円（別冊 24頁）
- ・私立専門学校入学金・授業料減免事業補助【新規】 990,000千円（別冊 25頁）
- ・県立学校ICT環境整備事業【一部新規】（元年度2月補正・2年度当初あわせ） 1,167,182千円（別冊 26頁）
- ・学校におけるいじめ・不登校等対策の推進 939,536千円（別冊 27頁）

<子育て環境の充実>

- 保育士の確保・定着対策を推進し、保育環境の改善を図るため、保育士の給与改善のための県単独補助を引き続き実施します。
- ひとり親家庭等に対する医療費助成について、償還払いから現物給付に変更し、利便性の向上や更なる負担軽減を図ります。
- 企業等の協賛により、子育て家庭が各種サービスを受けられる「チーパス」事業について、令和3年4月から優待カードを電子化するため、必要な準備を進めます。

〈主な事業〉

- ・千葉県保育士処遇改善事業 1,798,000千円 (別冊 28頁)
 - ・ひとり親家庭等医療費助成事業 483,000千円 (別冊 29頁)
 - ・子育て等応援！チーパス事業 64,500千円 (別冊 30頁)
- (債務負担行為 39,000千円)

〈児童虐待対策〉

- 児童虐待対策に総合的に取り組むため、児童相談所について、職員を増員するとともに、業務の効率化を図るためのシステム開発や、出張時に活用できるスマートフォンの導入など、ICT環境の整備により業務改善を図ります。
また、関係職員に対する研修の拡充や専門家・関係機関との連携強化、年間を通じた広報・啓発活動、里親数の増加を図る取組などを進めます。
- 児童虐待部門とDV部門の一層の連携強化を図るため、新たに児童相談所においてDV相談等を実施するほか、インターネット等による広報啓発を拡充し、DV被害者の早期発見に取り組みます。

〈主な事業〉

- ・児童相談所の機能強化【一部新規】 511,413千円 (別冊 31頁)
- ・児童虐待防止対策事業 453,812千円 (別冊 32頁)
- ・DV等の防止及び被害者支援の推進【一部新規】 229,438千円 (別冊 33頁)

3 福祉・医療の充実

<福祉の充実>

【高齢者福祉】

- 介護人材の確保対策について、新規就業や介護職員のキャリア形成に向けた支援等を行います。特に外国人人材の就業促進については、令和2年度にベトナムからの初めての留学生を受け入れるに当たり、きめ細かな支援を行うため、元年度に開設した支援センターにおける相談支援、留学生と介護施設等とのマッチング、日本語学校の学費支援等に対する助成など、予算を増額して実施します。
- 高齢化が進行する中、特別養護老人ホーム等の施設整備を促進するため、引き続き県単独の助成を行います。また、新たに、介護事業所において業務の効率化を図るためのICT導入経費に対し、助成します。

<主な事業>

- ・ 介護人材確保対策事業 336,538千円 (別冊 34頁)
- ・ 老人福祉施設整備事業補助 4,008,900千円 (別冊 35頁)
- ・ 介護事業所におけるICT導入支援事業【新規】 16,800千円 (別冊 36頁)

【障害者福祉】

- 重度心身障害者(児)の医療費負担を軽減するための助成について、令和2年度中に精神障害者を対象に加えます。
- 老朽化・狭隘化が進んでいる千葉リハビリテーションセンターについて、県民ニーズに対応できるよう、建替えに向けた地質調査を実施するとともに、基本設計等を行うための債務負担行為を設定します。

<主な事業>

- ・ 重度心身障害者(児)医療給付改善事業 4,500,000千円 (別冊 37頁)
 - ・ 千葉リハビリテーションセンター再整備事業 50,373千円 (別冊 38頁)
- (債務負担行為 287,000千円)

【社会福祉】

- 社会福祉活動の推進や、災害時のボランティア活動の拠点としての機能を強化するため、千葉県社会福祉センターの再整備に向け、建築工事に着手します。
- 生活困窮者の自立に向け、就労準備支援や子どもの学習支援等を行うほか、新たに、家計改善や子どもの生活習慣の改善に関する相談支援等を実施します。

〈主な事業〉

- ・千葉県社会福祉センター整備事業 7,845千円（別冊 39頁）
（債務負担行為 3,188,000千円）
- ・生活困窮者自立支援事業【一部新規】 55,853千円（別冊 40頁）

〈医療体制の整備、健康づくりの推進〉

- 地域医療を支える医師・看護師等を確保するため、修学資金の貸付けや若手医師のキャリア形成支援、医師少数区域等への医師派遣に対する助成、病院内保育所の運営に対する助成等を引き続き実施します。
また、救急医療体制の負担を軽減するため、看護師や医師による夜間・休日の電話相談について、相談時間を延長して実施します。
- 県民一人ひとりの健康づくりへの取組を促進するため、新たに、市町村が実施する健康づくりイベント等への参加を通じて、協賛事業者から各種サービスを受けられるポイント制度を導入します。
- 病院事業会計においては、令和2年秋ごろに開設予定のがんセンター新棟について、建設工事を進めるとともに、最先端の医療機器を整備するなど、必要な準備を行います。また、（仮称）千葉県総合救急災害医療センターの整備に向けた用地取得や実施設計等を行います。

〈主な事業〉

- ・医師確保関係事業 959,000千円（別冊 41頁）
- ・看護師等確保関係事業 1,172,000千円（別冊 42頁）
- ・救急安心電話相談事業 44,880千円（別冊 43頁）
- ・元気ちば！健康チャレンジ・ポイント事業【新規】 8,000千円（別冊 44頁）
- ・がんセンター施設整備事業 5,549,440千円（別冊 45頁）
- ・（仮称）千葉県総合救急災害医療センター施設整備事業 3,551,024千円（別冊 46頁）

4 千葉の魅力発信

〈東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた万全の準備と円滑な運営〉

- いよいよ開催される東京2020オリンピック・パラリンピック大会の成功に向け、関連事業について万全の準備を整え、円滑に運営していきます。
 - ・直前まで事前キャンプの誘致を進めるとともに、既に決定しているオランダ水泳チームや米国陸上チームなどの事前キャンプを受け入れます。
 - ・成田空港や競技会場周辺の主要駅で活動する都市ボランティアが、国内外からの観客等に対し、適切な案内や温かい「おもてなし」を行えるよう、研修等の準備を進めるとともに、活動ブースの設置・運営等を行います。
 - ・聖火リレーを通じて、本県の魅力や災害からの復興をアピールするとともに、共生社会について考えるきっかけとしていきます。
 - ・大会期間中、幕張海浜公園にライブサイトを設置し、市町村のPRや特産品の販売コーナー等を併設したイベントを開催します。また、幕張メッセや釣ヶ崎海岸の周辺にクールスポットを設置し、県産品の紹介や観光案内等を行います。
 - ・県内の児童生徒に対し、本県開催競技を中心に大会を観戦する機会を提供します。
 - ・本県の魅力を県内外に発信し、文化振興と地域の活性化を図るため、世代や障害の有無を超えて交流できる県民参加型の文化プログラムを実施します。
 - ・障害者スポーツ大会の開催や地域の拠点づくりを支援するとともに、競技体験会への助成等を行い、障害者スポーツの振興を図ります。

〈主な事業〉

・事前キャンプ受入事業	180,000千円（別冊 47頁）
・東京2020大会に向けたボランティアの育成・運営	160,000千円（別冊 48頁）
・聖火リレー準備・運営事業	630,000千円（別冊 49頁）
・東京2020ライブサイト等イベント実施事業	65,000千円（別冊 50頁）
・競技会場周辺におけるクールスポット設置事業【新規】	28,600千円（別冊 51頁）
・東京2020大会競技観戦支援事業	129,000千円（別冊 52頁）
・東京2020大会の文化プログラムを契機とした文化力向上事業	246,682千円（別冊 53頁）
・障害者スポーツ振興事業【一部新規】	40,945千円（別冊 54頁）

＜東京オリンピック・パラリンピック、アクアラインマラソンを好機とする魅力発信＞

○ 国内外から多くの方々が本県を訪れる東京2020オリンピック・パラリンピック大会を絶好の機会ととらえ、関連イベントや交通広告、インターネットなどを活用して、千葉の魅力発信や観光・県産農林水産物のPRを行います。

また、来訪者が「また千葉に来たい」と心から思えるよう、オール千葉で「おもてなし」の機運を加速するための取組を行うとともに、観光事業者等が外国人観光客との会話に利用できる多言語コミュニケーションシートを作成します。

○ ちばアクアラインマラソンの開催に合わせ、県産農林水産物や物産・観光のPRを行うとともに、参加選手を対象に、県内の宿泊施設で利用できる優待券を配布します。

＜主な事業＞

・東京2020大会を活用した情報発信事業【一部新規】	65,000千円（別冊 55頁）
・東京2020大会を契機とした観光プロモーション事業【新規】	48,700千円（別冊 56頁）
・東京2020大会を契機とした県産農林水産物PR事業【新規】	53,665千円（別冊 57頁）
・オール千葉おもてなし推進事業【一部新規】	23,850千円（別冊 58頁）
・ちばアクアラインマラソン開催に伴うPR事業	30,000千円（別冊 59頁）
・マラソンランナー優待キャンペーン	32,000千円（別冊 60頁）

5 商工業の振興・雇用

<挑戦し続ける産業づくり>

- 県内中小企業の積極的な設備投資等を支援するため、中小企業振興資金について、過去最大の融資枠5,700億円を継続します。
- 本県への企業立地を促進し、経済の活性化と雇用の確保を図るため、県内へ立地する企業や、新たな産業用地の確保に取り組む市町村に対し、助成します。
- 県内中小企業の円滑な事業承継を推進するため、新たにコーディネーターを配置し、承継に向けた課題整理等の支援を行います。
- 意欲ある中小企業の海外展開を促進するため、海外で開催される見本市や国際展示商談会への出展等を支援します。
- 健康・医療分野のものづくりを促進するため、中小企業と医療機関・医療機器メーカーとのマッチングを行う医療コーディネーターを増員するほか、医療機器等の開発費用に対する助成等を行います。
- 中小企業のスマート化による技術の高度化や生産性の向上を図るため、ワンストップ相談窓口を設置するほか、新たにAI等の体験型実習や、専門家派遣による集中支援等を行います。

<主な事業>

・ 中小企業振興資金	190,000,000千円（融資枠 570,000,000千円）（別冊 61頁）
・ 立地企業補助金	815,000千円（別冊 62頁）
・ ちば中小企業次世代承継推進事業【新規】	15,000千円（別冊 63頁）
・ 海外展開支援事業	17,860千円（別冊 64頁）
・ 健康・医療ものづくり推進事業	58,200千円（別冊 65頁）
・ 中小製造業向けスマート化推進事業【一部新規】	15,300千円（別冊 66頁）

<経済の活性化を支える人づくり>

- ジョブカフェちばにおいて、若者の就職支援や中小企業の人材確保支援を行います。
- 障害者の雇用拡大を円滑に進めるため、障害者の就労に向けた研修・実習やマッチング、受入後のフォローアップ支援などを実施します。
- 中小企業等における長時間労働の是正や働きやすい職場環境づくりのため、働き方改革アドバイザーの派遣やセミナーの開催、テレワークの導入支援を行います。

<主な事業>

- ・ジョブカフェちば事業 141,298千円 (別冊 67頁)
- ・障害者雇用サポート事業 35,987千円 (別冊 68頁)
- ・「働き方改革」推進事業 20,000千円 (別冊 69頁)

6 農林水産業の振興と社会基盤づくり

(1) 農林水産業の振興

<県産農林水産物の販売促進>

- 県産農林水産物の輸出拡大に向け、アジア地域におけるプロモーション活動を強化するほか、本県が開発した主食用米新品種「粒すけ」の本格デビューに合わせ、PR活動を実施します。

<主な事業>

- ・「世界に飛び出せ千葉の農林水産物」輸出促進事業 61,500千円（別冊 70頁）
- ・水稲新品種「粒すけ」PR事業【新規】 32,500千円（別冊 71頁）

<農業の振興>

- 経営の大規模化による生産性の向上を図るため、農地中間管理機構等を活用した担い手への農地集積を支援するほか、園芸産地の生産力向上のため、施設の整備や省力化機械の導入等に対して引き続き助成します。
- 発生地域が拡大しているジャンボタニシに対し、地域が一体となって行う緊急かつ総合的な防除対策を推進します。
- 被災した安房地域の特産果樹産地において、現状調査や災害に強いモデルほ場の設置など、産地の再生に向けた支援を行います。
- イノシシなどの有害鳥獣による被害を防止するため、捕獲事業や防護柵の設置に対する助成等を行います。令和2年度は、新たに捕獲個体の処理施設等の整備に対して助成し、捕獲従事者の負担軽減を図ることにより、捕獲数の増加を目指します。

<主な事業>

- ・農地集積加速化促進事業 464,400千円（別冊 72頁）
- ・「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業 350,000千円（別冊 73頁）
- ・ジャンボタニシ緊急防除対策事業【一部新規】 43,700千円（別冊 74頁）
- ・特産果樹産地再生事業【新規】 4,200千円（別冊 75頁）
- ・野生鳥獣総合対策事業【一部新規】 621,828千円（別冊 76頁）
- ・イノシシ等有害獣被害防止対策事業 366,630千円（別冊 77頁）

<畜産業の振興>

- 和牛産地としての基盤強化のため、繁殖和牛の増頭や改良に対して助成するとともに、新たに「和牛オリンピック」への出品を支援し、ブランド力の向上を図ります。
- C S Fの感染を予防するため、県内養豚農家等を対象に、ワクチン接種を実施します。初回接種については、緊急的な実施となるため無料で行います。

<主な事業>

- ・肉用牛ブランド力向上対策事業【一部新規】 18,343千円（別冊 78頁）
- ・C S Fワクチン接種事業【新規】（元年度2月補正・2年度当初あわせ）
306,399千円（別冊 79頁）

<林業、水産業の振興>

- 県内の森林整備を促進するため、間伐・造林・保育等の経費を助成するとともに、道路や電線など重要インフラ施設に近接する森林において、更なる倒木被害の発生を防止するため、緊急的に実施する復旧整備や伐採等を支援します。
- 老朽化が進んでいる水産総合研究センターについて、東京湾漁業研究所の大規模改修に向けた基本設計及び種苗生産施設の基礎調査を実施します。

<主な事業>

- ・森林整備事業【一部新規】[再掲]（元年度2月補正・2年度当初あわせ）
394,919千円（別冊 15頁）
- ・水産総合研究センター再編整備事業 89,233千円（別冊 80頁）

(2) 社会基盤づくり

<道路等の整備>

- 県民生活の利便性向上を図り、県内経済の活性化や観光振興につなげるため、多様な交流・連携を支える道路ネットワークの整備を強力に進めます。

令和2年度は、北千葉道路について、印西市～成田市間の事業中区間の整備と、市川市～船橋市間の環境アセスメント・都市計画変更の手続きを着実に進めます。

また、圏央道などの広域的な幹線道路ネットワークの効果を県内各地に波及させるため、銚子連絡道路、長生グリーンラインなどのアクセス道路や、地域に密着した道路の整備を進めるとともに、道路法対策や橋りょうの耐震対策、電線類地中化など、防災対策を強化します。

- 交通事故防止のため、歩道整備、交差点改良や交通管制機器の整備、信号機・道路標識の設置、横断歩道の補修等を行います。

<主な事業>

- ・道路ネットワーク事業 65,764,527千円 (別冊 81頁)
- ・交通安全施設整備事業[再掲](元年度2月補正・2年度当初あわせ) 9,620,769千円 (別冊 22頁)

<公共交通機関、水道事業>

- 高齢者や障害者をはじめ、誰もが利用しやすい駅となるよう、エレベーターやホームドアなどのバリアフリー設備に対する助成を行い、整備を促進します。
- 路線バス等の地域公共交通を持続可能なものとしていくため、新たに、広域的な交通網の活性化や見直しに取り組む市町村を支援します。
- 水道事業体の経営基盤を強化し、将来にわたって安定して水を届けられるよう、県内事業体の統合や広域連携の効果・進め方等を示す推進プランの策定に当たり、必要な調査を実施します。

<主な事業>

- ・鉄道駅バリアフリー設備整備事業補助 99,964千円 (別冊 82頁)
- ・持続可能な地域公共交通の確保支援事業【新規】 38,500千円 (別冊 83頁)
- ・水道広域化推進プラン策定事業【新規】 31,000千円 (別冊 84頁)

<施設の長寿命化>

- 「県有建物長寿命化計画」に基づき、庁舎・県立学校・警察施設等の県有建物について、建替えや大規模改修、計画保全等に取り組みます。

<主な事業>

- ・県有建物長寿命化対策事業 17,242,629千円 (別冊 85頁)

7 文化・スポーツ・環境施策の推進

<文化・スポーツ施策の推進>

- 県立図書館と県文書館の複合施設を新たに整備するため、埋蔵文化財調査等を行うとともに、基本設計を実施するための債務負担行為を設定します。
- 県立美術館において、代表的な日本文化である「相撲」を美術的な観点からとらえた特別展を開催するとともに、常設展の充実を図ります。
- さらなる利便性の向上と利用者の安全確保を図るため、総合スポーツセンター野球場に照明設備を設置します。
- 5回目となる「ちばアクアラインマラソン」を本年10月18日に開催し、健康増進や体力の向上促進を図るとともに、千葉県が有する様々な魅力を発信します。
- 本県の障害者アスリートを強化・支援する取組に対し、助成します。

<主な事業>

・新県立図書館等複合施設整備事業	240,000千円 (別冊 86頁) (債務負担行為 321,000千円)
・県立美術館活性化事業	27,014千円 (別冊 87頁)
・総合スポーツセンター野球場照明設備設置事業	60,000千円 (別冊 88頁)
・ちばアクアラインマラソン開催事業	145,000千円 (別冊 89頁)
・障害者アスリート強化・支援事業【新規】	20,000千円 (別冊 90頁)

<環境施策の推進>

- 生態系への影響や農林水産業への被害を及ぼすおそれのある特定外来生物について、計画的な防除や生息状況調査を実施するほか、印旛沼及び手賀沼で急速に繁殖している外来水生植物の計画的な駆除等を進めます。
- 住宅用省エネルギー設備の導入を促進するための補助について、エネルギー削減効果が高い、窓の断熱改修に対して新たに助成します。

<主な事業>

・外来種特別対策事業	141,930千円 (別冊 91頁)
・湖沼における外来水生植物対策事業	101,330千円 (別冊 92頁)
・住宅用省エネルギー設備等導入促進事業【一部新規】	300,000千円 (別冊 93頁)